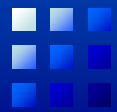


平成28年3月期第1四半期 連結決算

補足説明資料

2015/8/10

AISAN TECHNOLOGY CO.,LTD.



平成28年3月期第1四半期 業績ハイライト

売上高：430百万円

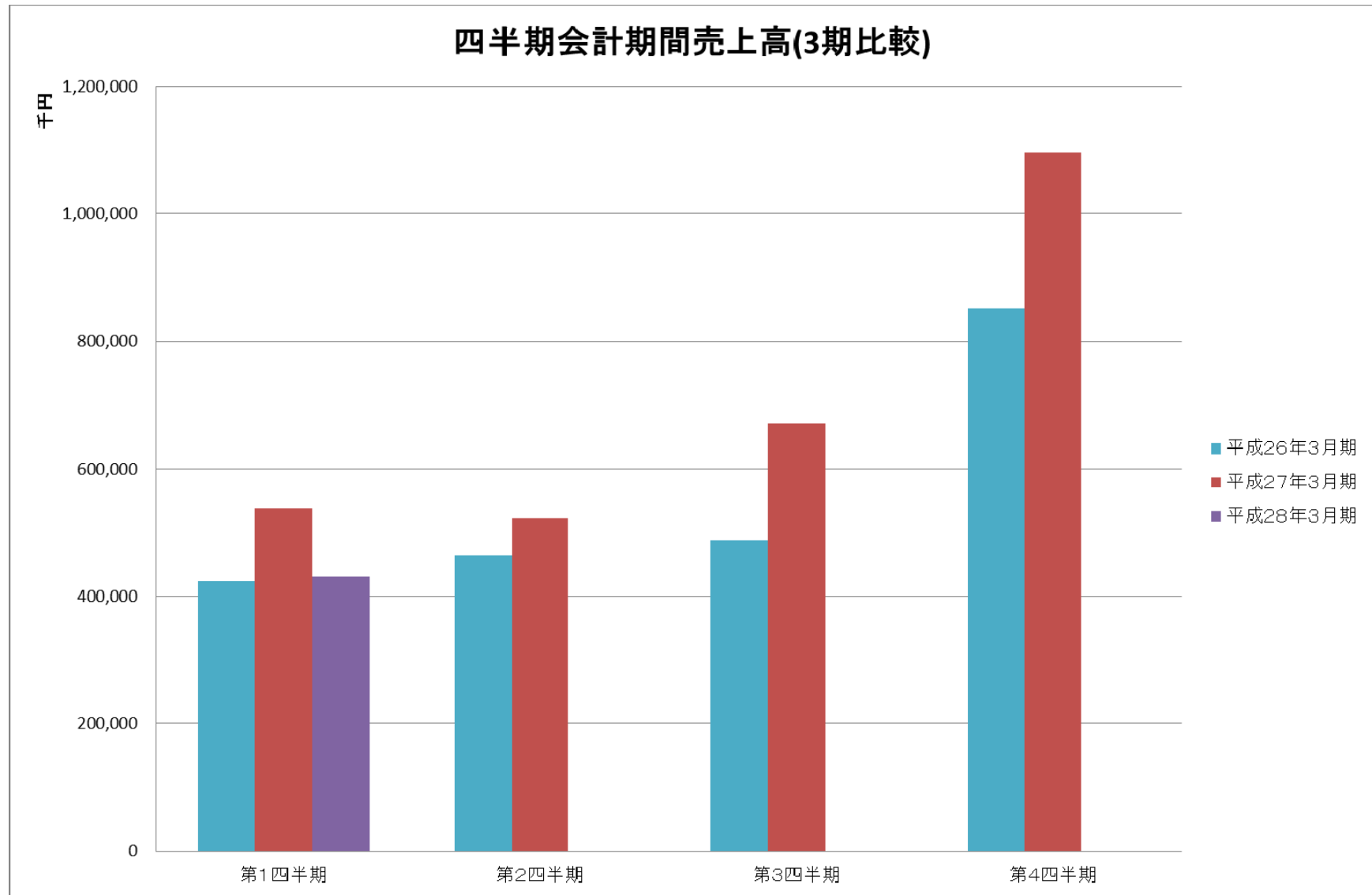
(前年同期比19.9%減)

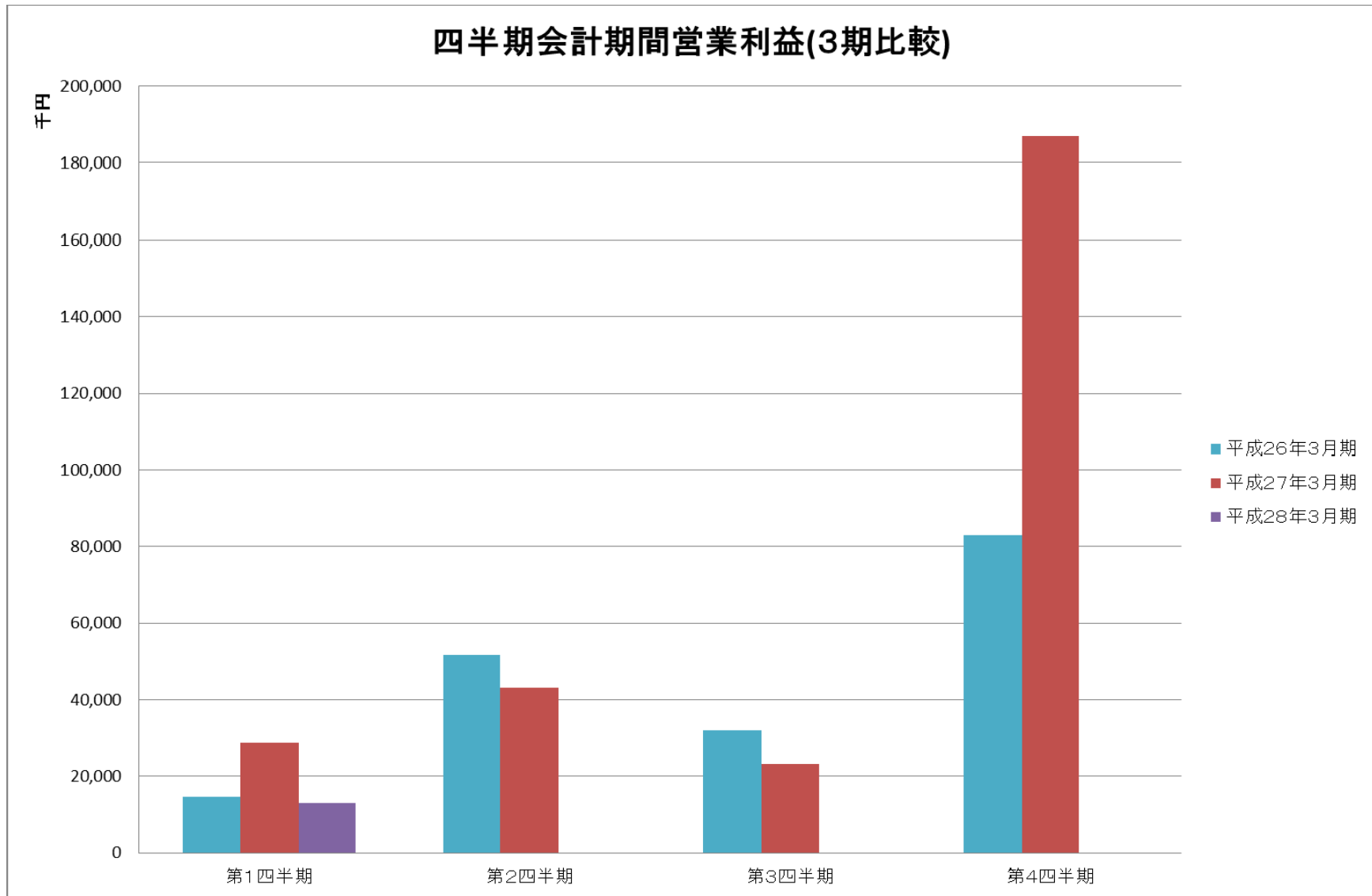
営業利益：12百万円

(前年同期比54.9%減)

親会社株主に帰属する四半期純利益：7百万円

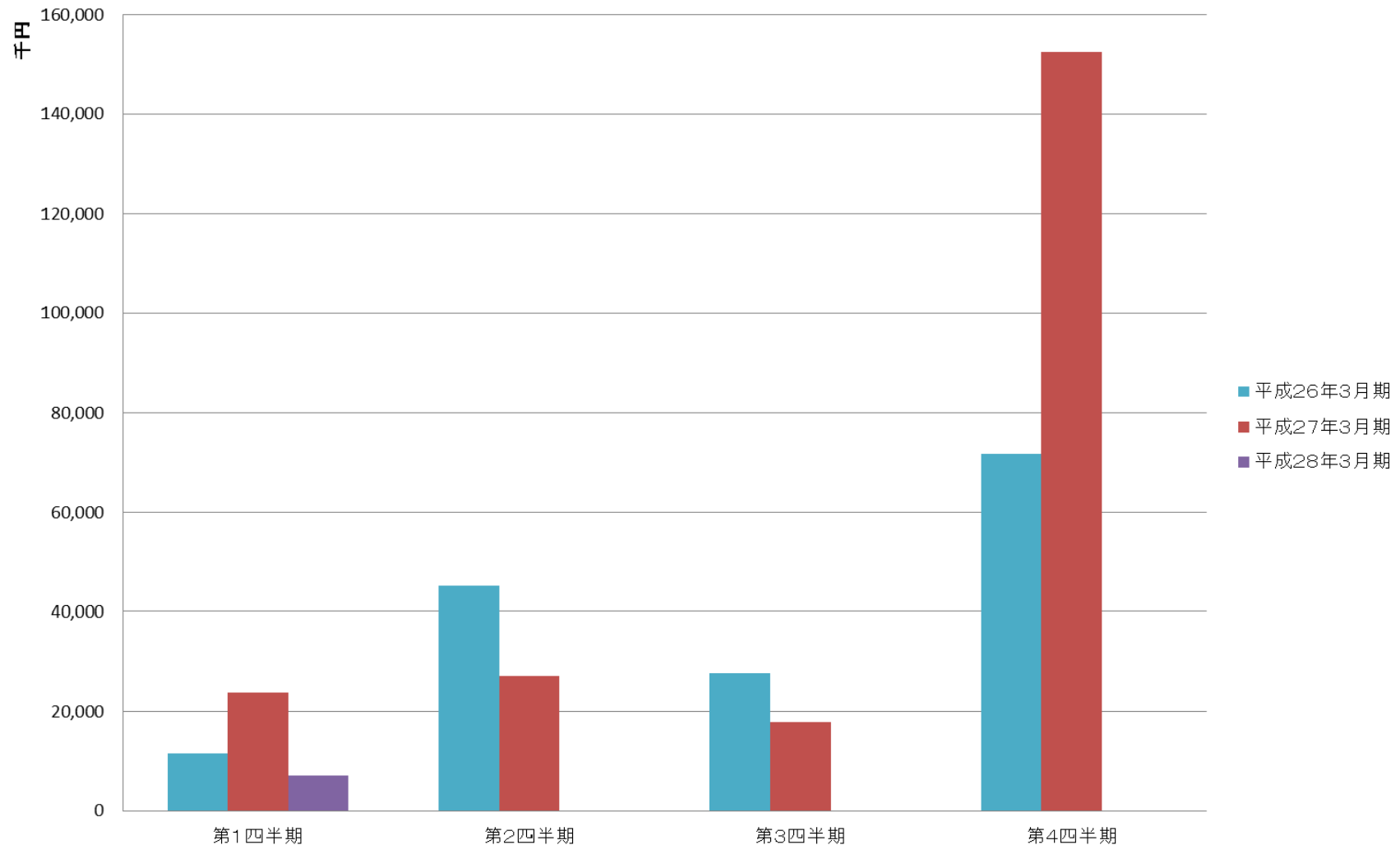
(前年同期比70.1%減)







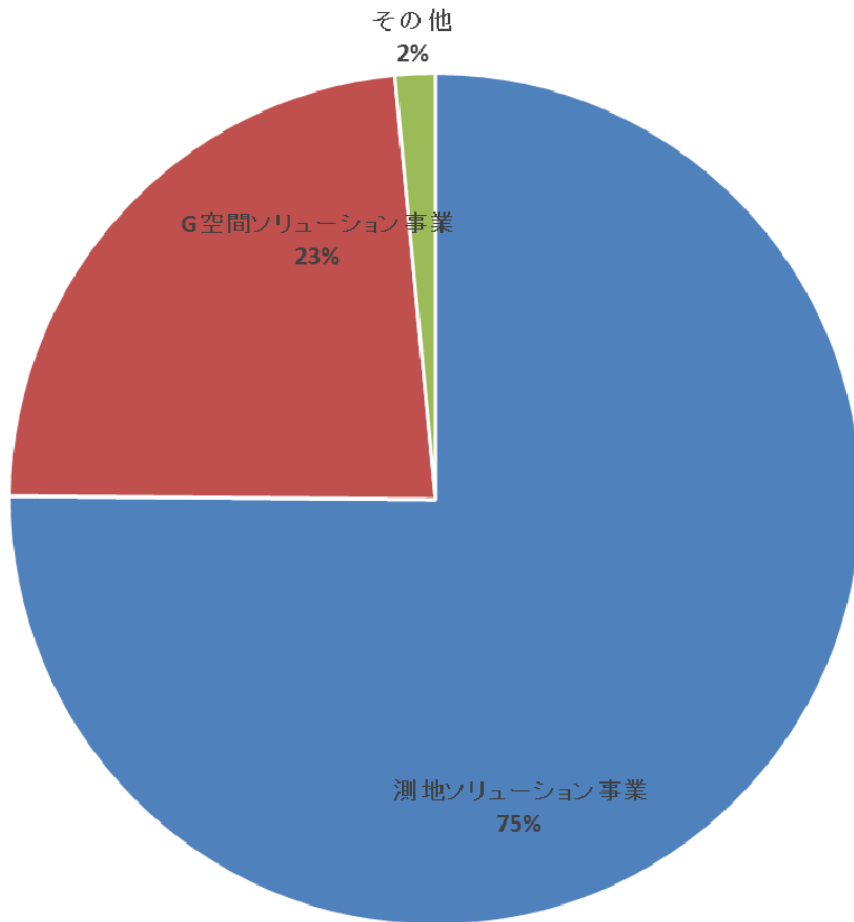
四半期会計期間 親会社株主に帰属する四半期純利益(3期比較)



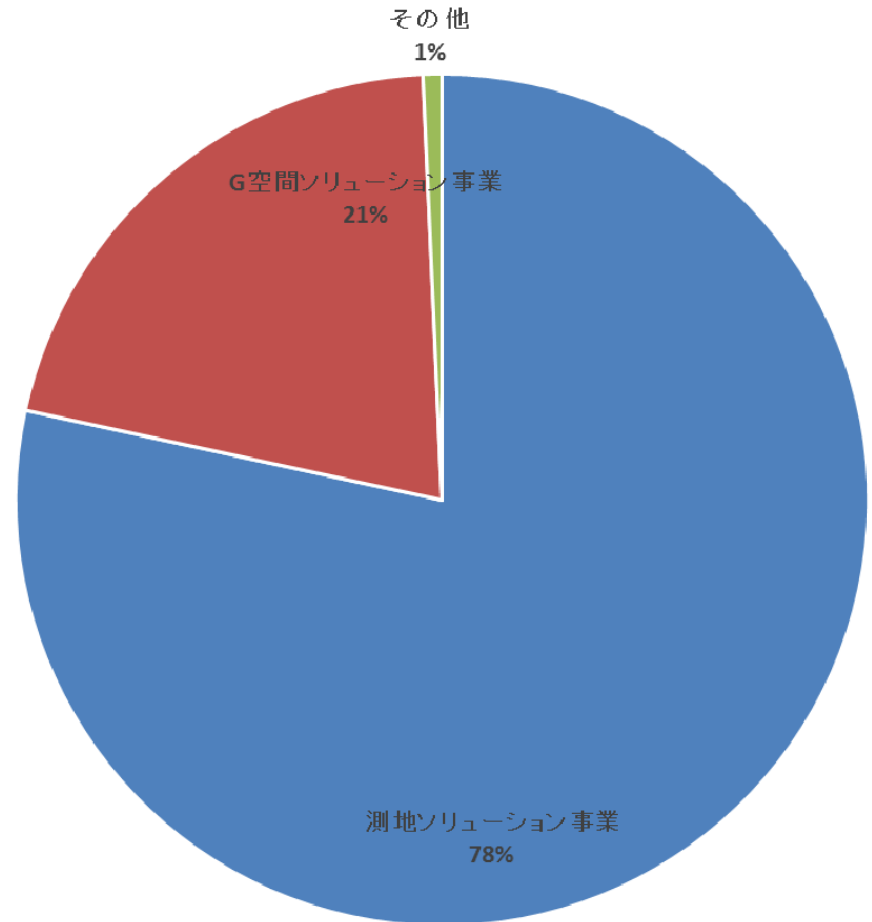


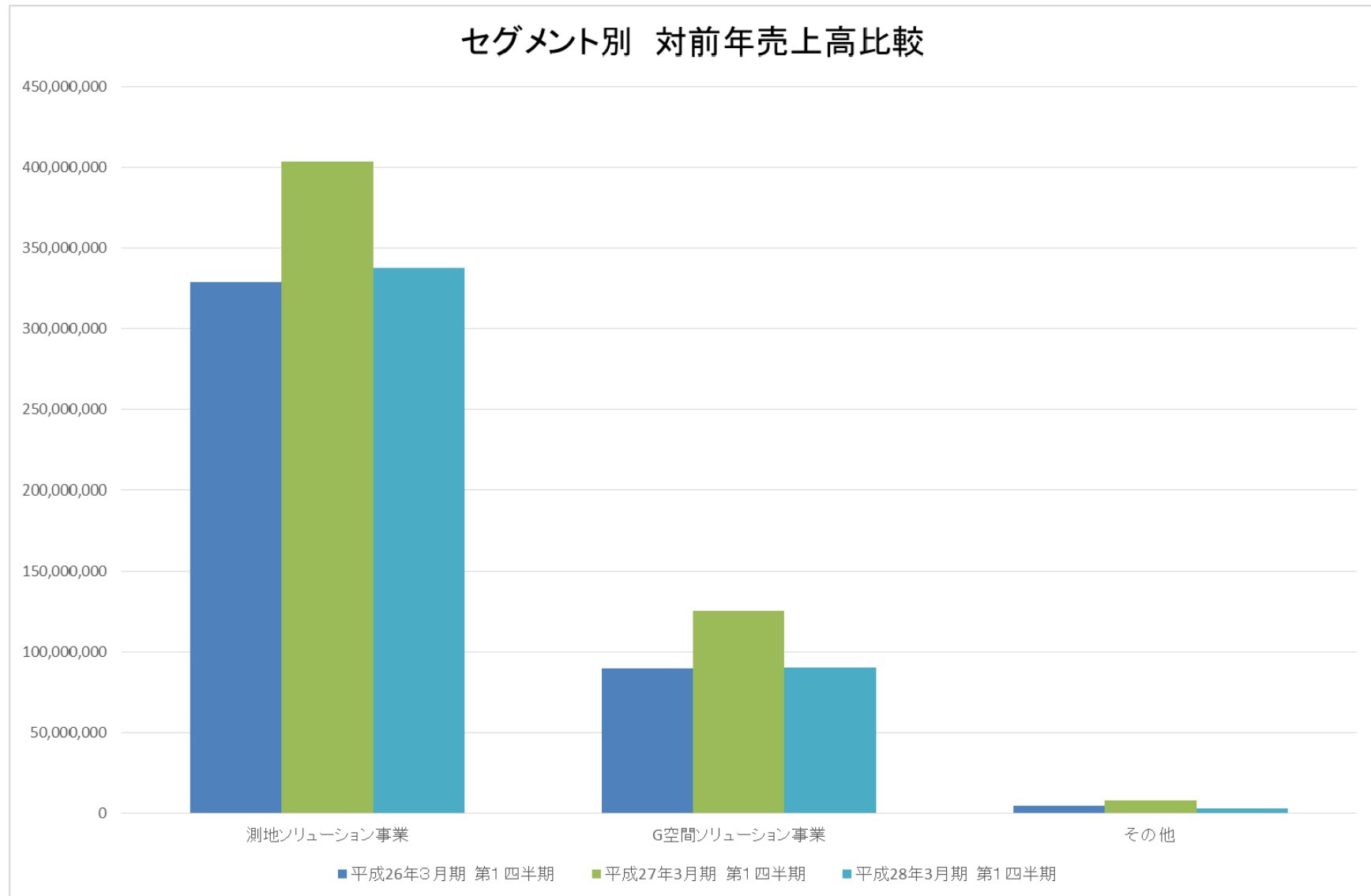
セグメント別 売上高構成比

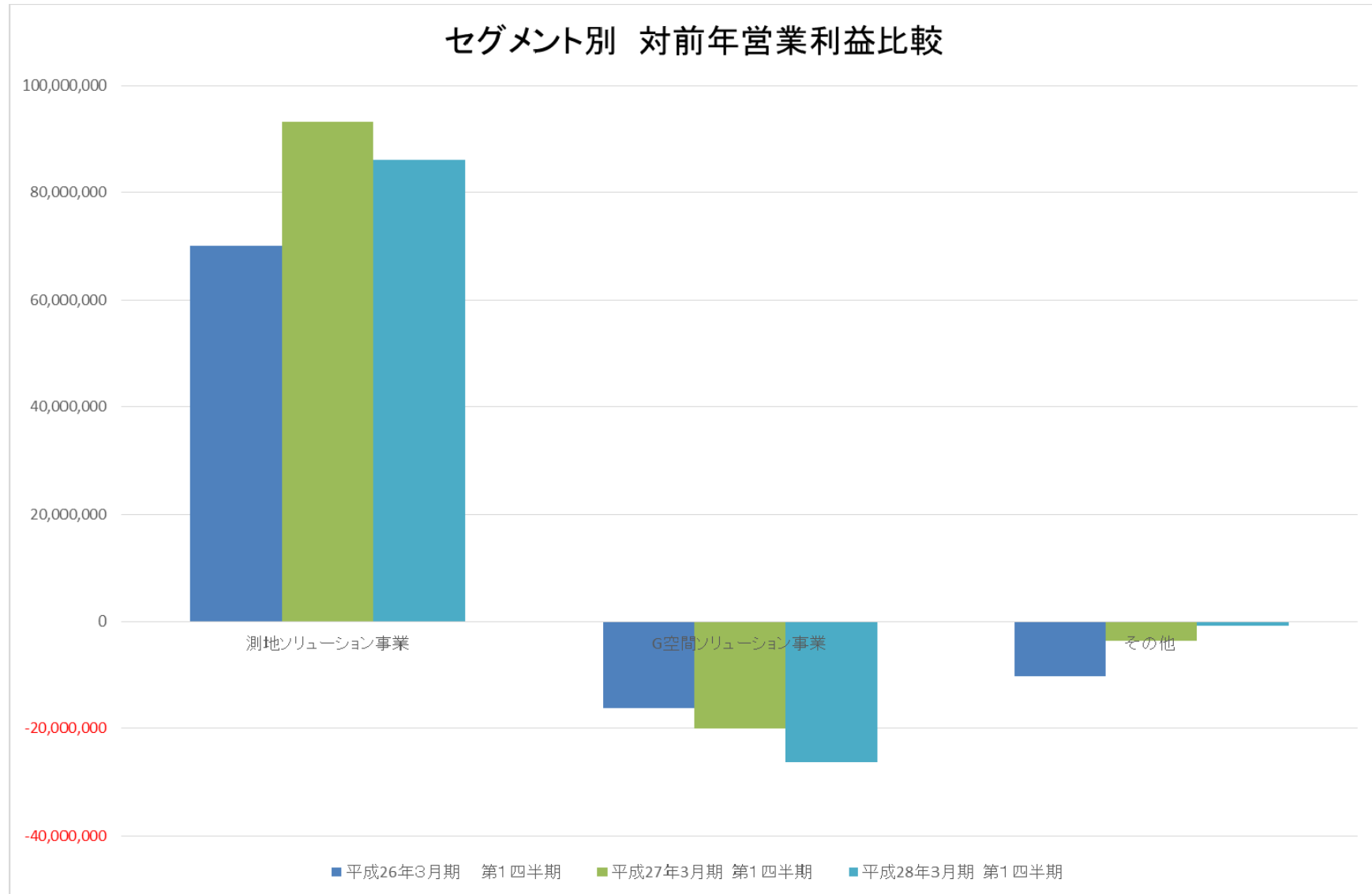
平成27年3月期



平成28年3月期









1. 平成28年3月期第1四半期決算を総括

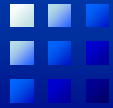
当連結会計年度においては、平成26年4月のマイクロソフトによるWindowsXPサポート終了並びに平成26年4月の消費税率変更を控えた駆け込み需要とした一過性の要因による例年になく好調な業績となりました。前連結会計年度と反し、当事業年度開始直後の統一地方選挙等の影響から自治体が主導する各種事業の予算執行が進まず、設備投資意欲が喚起されない状況にありました。その後、徐々に予算が執行されるとともに、最新の計測機器を中心としたソリューションへの投資意欲が上向いてまいりましたが、前連結会計年度の業績には及ばず、残念ながら減収減益となりました。各事業セグメント別には以下の通りであります。

【測地ソリューション事業】

- ①主力製品「WingneoINFINITY」とライカジオシステムズ株式会社の最新計測機器及び複合機等の周辺機器を組み合わせた、お客様の業務改善に向けた営業活動を展開してまいりました。
- ②「WingneoINFINITY」の最新バージョンの提案とともに既存の不動産登記図面等を活用する新機能を通して、既存顧客の更なるニーズを掘り起こすとともに、新規顧客の獲得も平行し強化しました。
- ③全国各地で「アイサンフェア2015」を開催し、最新の「WingneoINFINITY Ver. 5」や、MMSを中心とした各種計測機器の実機展示とともに、測量・位置情報に関する各種セミナーを実施し、お客様のニーズの掘り起こしを図ってまいりました。

【G空間ソリューション事業】

- ①前事業年度より引き続きITS業界を中心とした自動走行支援のための高精度三次元地図データベースに関する研究開発や、実証実験等を実施してまいりました。
- ②昨年設立の国立大学法人 名古屋大学及び当社グループを中心とした自動運転技術の公道実証実験ワーキンググループである「アーバンドライブWG」では、名古屋市内における公道での実証実験を行うなど、その研究は順調に推移しました。
- ③MMSを用いた計測作業により収集されるデータを解析した成果物の有用性を各方面に継続的に提案してまいりました。MMSは高い評価も得ており受注も順調に進んでおりますが、MMS車両は受注生産品であるため納品までに一定の時間を要することから、当第1四半期連結累計期間における売上計上には至らず、当セグメントの減収減益の要因となりました。



2. 連結財務諸表に関して

(1) 連結貸借対照表に関して

①資産の部にて受取手形及び売掛金が、負債の部にて支払手形及び買掛金が減少している要因は？

当社では第4四半期に売上が偏る傾向にあります。前事業年度第4四半期に売上計上した売掛金の多くを当第1四半期で回収した事や、前年度末に年間保守契約を開始した保守サービス料金の回収が進んだため、受取手形及び売掛金は前年度末と比較し減少致しました。一方、売上に伴って前事業年度末に計上していた買掛金の支払いを当第1四半期に行ったため、支払手形及び買掛金が前年度末と比較し減少しております。

②資産の部において、無形固定資産が増加している要因は？

当第1四半期に株式会社三英技研と特許クロスライセンス契約を締結し、取得した特許権40百万円を無形固定資産に計上しております。本ライセンス契約は自動走行支援に不可欠な道路地図データベースを生成する際に必要な技術で、当社ではより安全でより快適な自動走行支援への技術提案、ならびに実用的な高精度三次元地図提供の実現に向けた取り組みを進めてまいります。

③負債の部において、短期借入金が増加されているがその目的は何か？

納税費用や賞与費用などに充当する為、当第1四半期において取引銀行から150百万円の借入を実施しました。なお、本借入金については平成27年9月までに完済する予定です。

(2) 連結損益計算書に関して

①売上高、各利益が前年同期と比較し減少している要因は何か？

前頁の平成28年3月期第1四半期決算を総括でご説明の通りですが、売上高の減少は、前事業年度の一過性の要因によるもの、MMS車両の売上計上が当事業年度は、第2四半期以降での計上見込みとなったことにより、各利益の減少は売上高の減少によるものが主たる要因となります。



3. 自動車の自動走行支援分野における当社の事業展開は？

当社では、MMSにより取得する高精度三次元データとともに、創業来培ってきた「測量」計算技術を活用し、自動走行を支援するための高精度三次元地図データベースに係る開発を行っております。本データベースは、道路の要素情報（カーブ・勾配・信号・標識等）を「テキスト化」した自動走行・安全運転支援に向けたデータであり、自動車メーカーを始め自動走行の研究を進めている研究機関などで研究にご利用いただいております。また、2018年に4機体制となり、実用化が見込まれる準天頂衛星の利用においても、高精度に位置情報を求める演算技術、「測量」に係る計算技術により、準天頂衛星の状態、受信状況の確認、位置の表示、軌跡の表示などの機能を搭載する受信機を開発、提供するとともに、前事業年度に実施しました内閣府より受託した準天頂衛星「みちびき」を利用した調査業務も今後、本分野で生かされていくものと考えています。

昨年6月27日に開示しましたZMP及び名古屋大学との自動運転の実証実験では、当社は名古屋大学と連携して、ZMPが行う自動運転車を使用した自動運転の公道実験に高精度三次元地図の提供を担っております。本年6月には名古屋大学が当社の高精度三次元地図を活用し、名古屋市守山区の公道2.5km区間での「自動運転技術の公道実証実験」を行い、自動運転カーに愛知県知事も試乗されました。

今後は、2020年の東京オリンピック・パラリンピックでの自動運転の実現を目指し、5年スパンでの公道実験による技術・ノウハウやガイドラインの蓄積・共有を継続して進めてまいります。



4. 準天頂衛星「みちびき」を活用した取り組み状況は？

当社では準天頂衛星「みちびき」を利用する、高精度な位置情報の利活用を目指した研究開発を当第1四半期にも引き続き積極的に進めてまいりました。

これまで研究活動を進めてまいりました、MMSにより得られる座標点群データを利用し、車線情報等を含む高精度数値化モデルによる道路情報を生成する研究活動も順調に進捗し、従来のナビゲーション等では不可能であった車線認識ナビゲーションの他、逆走防止、アップダウン道路情報からのエコ走行支援及びカーブ情報からの走行支援機能等への実現に向けた取り組みを行っております。

また、昨年受託しました「内閣府SIP（戦略的イノベーション創造プログラム・自動走行システム）政策に係る調査業務」は、創業来培ってきた測地・測量計算技術に加え、準天頂衛星「みちびき」を活用した高精度位置情報に係る研究成果、MMSを用いた高精度三次元地図作成ノウハウが総合的に高い評価を得ることができたことによります。本調査業務はその調査内容が多岐にわたり、専門の知識を要することから、「衛星測位活用検討コンソーシアム」（代表：当社）を設置し、自動車業界との意見交換を行いながら、平成27年3月には、内閣府へ完了報告書を提出いたしました。本調査業務による報告書及び今回取得したデータは、高精度位置情報の普及の為、より多くの研究者や企業が利用できるようにと、公開をしていく予定でおります。

当連結会計年度においても、引き続き準天頂衛星を用いた位置情報サービス及び三次元計測データの利活用を推進するシステム開発に重点投資してまいります。



5. 2020年東京オリンピック開催は、当社事業活動にどのような影響があるか？

2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、道路、橋梁、港湾、トンネル等幅広い社会インフラの老朽化に伴う対応が求められています。また、2018年に実用準天頂衛星が24時間体制となるとともに、各自動車メーカーでは交通事故死のない社会を目的とした実用的な自動走行支援の「くるま」の発売を計画しているなど、様々な分野で高精度位置情報が求められると予想しております。既に様々な方面よりそのニーズが生まれ、技術提供もスタートしております。

当社ではこのような時代を見据え、これまで培ってきた高精度に位置を求める技術を基礎に更なる研究開発、製品開発を推進し、新次元の測地系測量システムの開発を目指していきます。

また、4月に開示しました、「株式会社U'sFactoryと既存建物の屋内3Dモデリング事業に係る業務提携」により、従来のMMSを用いた屋外での三次元計測に加え、既存建物の屋内計測が可能となり、国土交通省が課題として掲げる屋内外のシームレスかつ高精度な地図整備を実現し、高精度測位社会の実現に向け取り組んでまいります。具体的には、国土交通省が実施する高精度測位社会の実現に向けた東京駅周辺における実証実験に参加し、東京駅周辺および地下空間における高精度三次元電子地図の整備および検証を行います。本技術は、6月に開催されました「第23回 3D&バーチャルリアリティ展」に出展し、紹介いたしました。

以上のように、当社が長年培って参りました技術を、従来の「測量」分野から、自動車産業をはじめとする様々な分野へ提供することで、自動車の自動走行支援の実現、高精度測位技術を活用したサービス提供に向けたインフラ整備などに貢献することを目指します。



6. 平成27年6月1日に開示された愛知県による平成27年度「新あいち創造研究開発補助金」採択事業の内容とその目的は？

本補助制度は、愛知県が喫緊の課題として産業空洞化の対応に向けた「産業空洞化対策減税基金」を活用し、企業立地及び研究開発や実証実験を支援するものであり、当社は平成27年度分に対し「UAV(無人飛行技術)を活用した自動走行用の三次元地図作成と、地図を利用した公道自動走行に関する実証実験」事業に応募し、採択されました。

本事業は、従来MMSで作成していた高精度三次元地図を、GPS、カメラ、高精度スキャナを搭載したUAVを用いて、愛・地球博記念公園内を計測し、その地図を国立大学法人名古屋大学の研究する自動走行車両に利用して自動走行が可能かを実証実験するものです。

7. 平成27年6月25日に開示された三英技研との特許クロスライセンス契約締結の目的は？

当社は本年6月に株式会社三英技研とクロスライセンス契約を締結しました。株式会社三英技研は、道路設計・三次元モデリングに関するソフトウェア技術を持つ研究開発企業で、これまでも主にMMSで取得した点群データを処理するソフトウェア分野などで提携してまいりました。

今回のクロスライセンス契約は当社が保有する特許と株式会社三英技研が持つ特許を相互利用し、ITS業界において積極的に進められている安全運転支援・自動走行支援の技術確立に向けた実証実験等の中で、スピーディで効率的な技術研究開発および製品開発を実現するものです。対象となる特許は、道路構造令に基づいたクロソイド曲線に関連するもので、自動走行運転に必要な道路地図データベース生成に不可欠なものです。

当社と株式会社三英技研は今後とも、道路「幾何」構造に着目した技術開発を積極的に進め、より安全でより快適な自動走行支援への技術提案や実用的な高精度三次元地図の提供に向けた取り組みを進めてまいります。



8. 平成28年3月期の業績予想に関して

当社は平成27年5月15日に発表した平成27年3月期決算短信にて平成28年3月期の業績予想を開示しております。その主なポイントは、以下の通りです。

- ①高精度三次元地図や準天頂衛星を利用した高精度位置情報を算出する技術の需要が伸びると予想し、売上高は30億円を見通しております。
- ②営業利益は、2018年の準天頂衛星実用化や2020年東京オリンピック開催に向けた自動走行支援にて利用する高精度三次元地図データベースなど様々な分野における先行研究開発費が発生すると予想され、平成27年3月期と同水準の2.85億円と予想しております。
- ③当期純利益は、平成27年3月期比15.9%減の185百万円と予想しております。

総括でもご説明したとおり、自治体が主導する各種事業の予算が徐々に執行されるとともに、お客様の設備投資意欲も回復しており、目標達成に向け随時社内体制の見直しを図ることから、平成28年3月期の業績予想は前回公表値から変更はありません。

また、平成27年6月24日に発表した中期経営計画にて定めた、平成28年3月期のコミットメントは以下の通りです。

1. 売上高以下、全ての利益目標の達成。
2. 準天頂衛星時代を見据え、屋内外の位置情報サービス、自動走行支援向け高精度三次元地図データ、屋内3Dモデリング計測を事業として推進。
3. 準天頂衛星を用いた位置情報サービス及び三次元計測データの利活用を推進するシステム開発に重点投資。

業績予想の達成と同時に、上記コミットメントにも邁進してまいります。



本資料に記載された情報や業績予想等の将来見通しは、資料作成現時点において入手可能な情報及び当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されております。今後、経営環境の変化等の事由により実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】
アイサンテクノロジー株式会社 業務統括本部
TEL: (052) 950-7500
お問い合わせURL : <https://www.aisantec.co.jp/contact/>